

地理歴史・公民

(2025)

(日本史)

- (注意事項)
- 1 問題文は27ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 海外との人の往来に関する日本の歴史についての以下の文章A～Cを読み、問1～問15に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

日本人の原型は古くからアジア大陸に住んでいた人々の子孫の縄文人であり、その後、もともとは北アジアに住んでいて弥生時代以降に渡来した人々などと混血を繰り返し、現在の日本人の祖先が形成されたとされる。弥生時代には中国の歴史書に、倭の使者が中国王朝に朝貢したことが記されている。^(ア)古墳時代にも、倭王が中国王朝に朝貢する一方、倭は朝鮮半島の国々と交流し、多くの渡来人が海を渡って様々な技術や文化を日本に伝えた。

6世紀末に隋が南北朝を統一すると、東アジアは激動の時代を迎え、倭も隋に遣隋使を派遣した。7世紀初頭に、隋に代わって中国を統一した唐は、アジアに大帝国を築き、周辺地域に大きな影響を与えた。朝鮮半島の動乱に倭も出兵した。7世紀に始まる日本からの遣唐使は、8世紀に入るとほぼ20年に1度の割合で派遣された。^(イ)仏教を通じた交流も盛んで、遣隋使・遣唐使には学問僧が加わるとともに、中国から渡来する僧もいた。^(ウ)朝鮮半島を統一した新羅や中国東北部に建国された渤海とのあいだには、多くの使節が往来した。8世紀末に新羅からの使節の来日がなくなり、遣唐使も9世紀末には派遣されなくなったが、新羅や唐の商人が頻繁に来航するようになった。

11世紀後半以降、日本と高麗・宋とのあいだで商船の往来が活発となり、12世紀に宋が北方の金に圧迫されて南宋となってからは、日本との貿易がさかんにおこなわれるようになった。13世紀にモンゴル帝国がユーラシア大陸に広大な帝国を築き、中国大陸に元を建てると、高麗を服属させ、日本にも朝貢を求めた。^(エ)鎌倉幕府が拒否すると、2度にわたって襲来した。鎌倉時代の仏教は宋との関係が深い。僧が宋に渡ったり、宋から僧や人が来日した。

室町幕府も中国との交流をはかり、使者を明に送って朝貢貿易である日明貿易を始めた。^(オ)日明貿易によって大量の明銭が流入した。室町時代の禅僧には中国からの渡来僧や中国帰りの留学僧が多く、彼らは禅だけでなく、禅の精神を具体化した水墨画や建築・庭園様式などを広く伝えた。朝鮮半島では、倭寇を撃退した李成桂が高麗を倒して朝鮮を建てると、日朝貿易が始まった。

問1 下線部(ア)に関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

1

- ① 『後漢書』東夷伝には、紀元57年に倭の奴国の王の使者が後漢の都洛陽に行き、光武帝から印綬を授けられたと記されている。
- ② 1784（天明4）年に福岡県志賀島で、「漢委奴国王」と刻印された金印が発見された。
- ③ 『三国志』の「魏志」倭人伝には、邪馬台国の女王卑弥呼が239年に魏に朝貢したと記されている。
- ④ 『宋書』倭国伝には、5世紀初めから、讃・珍・済・興・武と記された倭の国王が中国の北朝に朝貢したと記されている。
- ⑤ 6世紀には、百済から五経博士や易・暦・医の諸博士が渡来し、儒教やその他の知識を伝え、仏教も百済から伝えられた。

問2 下線部(イ)の遣唐使で最初に派遣されたのは以下のうちどれか。

2

- ① 小野妹子
- ② 犬上御田歊
- ③ 高向玄理
- ④ 南淵請安
- ⑤ 吉備真備

問3 下線部(ウ)の日本と中国の僧の往来のできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

3

- a 鑑真が来日した。
- b 空海が帰国した。
- c 旻が中国に渡った。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問4 下線部(エ)に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

4

- ① 朝貢の要求を執権北条時宗が拒否すると、元は文永年間に東路軍と江南軍に分かれて、襲来した。
- ② 元は弘安年間に、南宋のみならず直前に服属させた高麗の軍隊を合わせて襲来し、博多湾に上陸した。
- ③ 鎌倉幕府は臨済宗を重んじ、南宋から蘭溪道隆ら多くの禅僧をまねいて、鎌倉に建長寺などを建立した。
- ④ 南宋からまねかれた道元は、坐禅そのものを重視し、ただひたすら坐禅に徹せよと説き、円覚寺を立てて、曹洞宗を広めた。
- ⑤ 勧進上人となった叡尊は、宋人陳和卿の協力を得て源平の争乱で焼失した東大寺の再建に当たった。

問5 下線部(オ)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

5

- ① 足利尊氏・直義兄弟は、夢窓疎石の勧めで、後醍醐天皇の冥福を祈るため天龍寺を建立しようとし、元到天龍寺船を派遣した。
- ② 足利義満が日明貿易を始め、朝貢形式に対する反対で4代将軍足利義持が中止したが、5代将軍足利義量の時に再開された。
- ③ 室町幕府が衰退すると、貿易の実権をめぐって堺商人和結びついた細川氏や博多商人和結びついた大内氏が争うようになった。
- ④ 日明貿易では、日本からは銅・硫黄などの鉱産物や刀剣などが輸出され、明からは銅銭をはじめ生糸や絹織物などが輸入された。
- ⑤ 明から帰国した雪舟は、諸国をめぐって日本の自然を描き、日本的な水墨画様式を創造して、秋冬山水図などをのこした。

B

ヨーロッパ諸国が世界に進出する大航海時代に入り、アジアに拠点をつくると、日本にも渡来するようになった。ポルトガル人やスペイン人は、明が海禁政策をとっていたのに対応して、中国の生糸と16世紀の中ごろから飛躍的に生産が拡大した日本の銀の中継貿易をおこなった。ヨーロッパ人は火縄銃とキリスト教を日本に伝えた。鉄砲の導入によって戦闘が激化する中、^(ア)全国を統一した豊臣秀吉は、キリスト教がヨーロッパの侵略をまねくと考え宣教師に国外退去を命じるとともに、明に代わって日本を中心とする国際秩序をつくることをめざして、朝鮮に侵攻した。

江戸時代になるとヨーロッパで台頭してきたイギリスとオランダが進出してきた。徳川家康も貿易に積極的でスペイン領メキシコとの交易を求めて使者を派遣した。貿易船を派遣するとともに、東南アジアに日本町がつくられた。^(イ)当初家康はキリスト教を黙認していたが、^(ウ)ヨーロッパとの交流が進みキリスト教が広まると、それがスペイン・ポルトガルの侵略をまねくと考え、信徒が信仰によって団結することを恐れ、キリスト教を禁止した。また幕府が貿易の利益を独占するために、外国との貿易を制限して、いわゆる鎖国の状態となった。

18世紀後半、産業革命を経て工業化の波の中で、巨大な工業生産力と軍事力を備えた欧米諸国は、植民地を求めて、とくにアジアへの進出を本格化した。日本もアメリカを先頭とした開国の要求の中で、^(エ)不平等条約を結んで開国した。幕末には幕府にまねかれたフランス顧問団を始めとする来日外国人によって、欧米の知識や技術が伝えられた。

明治維新後も政府は、外国人教師（いわゆるお雇い外国人）の指導の下に近代産業を育成し、^(オ)欧米にならった近代化を進めた。幕末以来欧米に多くの留学生が派遣された。明治初年から、ハワイを始めアメリカ・カナダ・メキシコ、さらにはペルー・ブラジル・アルゼンチンなどの南米、フィリピンを始めとするアジア太平洋諸国への移民がおこなわれた。

問6 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

6

- ① ポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着し、領主の種子島時堯はポルトガル人のもっていた鉄砲を買い求めた。
- ② 1549（天文18）年に、フランシスコ会の宣教師フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に到着し、キリスト教の布教を始めた。
- ③ 大友義鎮（宗麟）・大村純忠・有馬晴信らの大名は、キリスト教の信仰にひかれ、または貿易の利益を得る目的もあってキリスト教に改宗した。
- ④ 土佐に漂着したスペイン船サン＝フェリペ号の船員が、スペインは布教活動を通じて領土を広げていると証言した。
- ⑤ 豊臣秀吉は、朝鮮に対し入貢と明に出兵するための先導を求めたが、朝鮮がこれを拒否すると、文禄・慶長の2度にわたって出兵した。

問7 下線部(イ)に関連して、山田長政が活躍した東南アジアの日本町はどこにあったか。

7

- ① アユタヤ
- ② マニラ
- ③ ツーラン
- ④ プノンペン
- ⑤ フェフォ

問8 下線部(ウ)の江戸幕府が海外との交流を制限していく過程でのできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

8

- a スペイン船の来航禁止
- b ポルトガル船の来航禁止
- c 奉書船以外の海外渡航禁止

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問9 下線部(エ)の日本がアメリカと結んだ日米修好通商条約の批准書交換の時に、幕府軍艦咸臨丸の艦長としてアメリカに渡ったのは次のうちどれか。

9

- ① 榎本武揚
- ② 福沢諭吉
- ③ 津田真道
- ④ 江川太郎左衛門
- ⑤ 勝海舟

問10 下線部(オ)に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

10

- ① フランス人法学者のロッシュを顧問として、刑法・治罪法などの近代法の編纂が進められた。
- ② 外国人顧問ボアソナードによる法典編纂のうち商法については、日本の伝統的な商慣行とあわないという批判があり、激しい論争が起こった。
- ③ 地方制度の改革も、ドイツ人顧問モッセの助言を得て進められ、市制・町村制、さらには府県制・郡制が制定された。
- ④ 不平等条約改正の交渉に派遣された大使岩倉具視・副使板垣退助の使節団には、津田梅子を始めとする留学生が加わっていた。
- ⑤ 伊藤博文は、憲法制定の準備のためにヨーロッパに留学し、ベルリン大学のロエスレルから憲法理論を学んだ。

C

日清・日露戦争を通じて、日本は台湾・朝鮮に植民地、さらに満洲の権益を獲得して、その^(ア)支配のために多くの日本人が渡った。植民地化後、朝鮮総督府は、土地の測量、所有権の確認をおこなったが、とくに朝鮮では所有権の不明確などを理由に広大な農地・山林が接収され、その一部は東洋拓殖会社や日本人地主などに払い下げられた。これによって多くの朝鮮農民が土地を奪われて困窮し、一部の人々は職を求めて日本に移住するようになった。

日本は、第一次世界大戦によってヨーロッパ列強が後退したアジア市場に綿織物などの輸出を拡大させた。中国で工場経営をおこなう紡績業（在華紡）も続出した。第一次世界大戦中に認めさせた二十一カ条の要求^(イ)にもより、日本企業の中国進出は増加し、日本権益は拡大していった。

中国では、国権回収の民族運動が高まり、国民党が国民革命軍による中国統一を目指す北伐^(ウ)を進めると、日本は居留民保護を名目に山東出兵を実施した。北伐が完了すると関東軍は、満洲事変によって全満洲を軍事的制圧下におき満洲国を建国した。日産などの新興財閥は満洲に進出していった。満洲国支配を強化するために、満蒙開拓団や満蒙開拓青少年義勇軍の満洲移民が進められた。日中戦争・太平洋戦争に拡大すると、日本軍や軍属などの日本人がアジア・太平洋地域に進出した。また、労務動員として数十万人の朝鮮人や、占領地域の中国人を日本本土などに強制連行し、鉱山や土木工事現場などで働かせた。

戦争終結後、日本は連合国によって占領された。将兵の復員や、満洲・朝鮮・台湾・南樺太など支配権を失った地域からの居留民の引揚げによって、人口はふくれ上がり、失業者も急増した。飢えと病気で死んだ者も少なくなく、残留孤児として残された者もいた。ソ連の捕虜となった軍人や居留民はシベリアに移送され、強制労働に従事させられた。一方、サンフランシスコ平和条約締結後、ブラジル移民が再開され、ニカラグアなどの中南米への渡航が増加した。

敗戦後制定された日本国憲法では、戦争放棄が規定され、その後創設された自衛隊も海外展開されることはなかったが、冷戦終結後様々な国際紛争についてアメリカから「国際貢献」^(オ)をせまられた日本は、憲法違反の声はありつつも自衛隊の海外派遣をおこなった。高度経済成長後、円高などによって欧米やアジアに生産拠点を移す企業が増加し、駐在員とその家族など、日本人の海外進出が増加した。一方、少子高齢化による労働力不足の中、「技能実習生」の制度が作られ、日系人などに対して「特別永住者」・「定住者」などの地位が新設されたが、その待遇や、参政権などの社会的地位などの解決すべき課題が多い。さらに日本の難民認定の少なさや出入国在留管理局（庁）の人権問題などが指摘されている。

問11 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

11

- ① 日清戦争後、日本は台湾総督府を設置して海軍軍人の樺山資紀を総督とし、軍事力によって抵抗運動を鎮圧した。
- ② 日露戦争中に第1次日韓協約を結んで韓国の外交権を奪い、韓国の外交を統轄する統監府において伊藤博文が初代の統監となった。
- ③ 日本の支配に対して抵抗する抗日義兵運動を鎮圧したが、その最中に初代統監の伊藤博文が韓国の民族運動家安重根に暗殺された。
- ④ 日本は韓国併合条約を強要して韓国を植民地化し、統治機関としての朝鮮総督府を設置し、初代総督に寺内正毅陸相を任命した。
- ⑤ 日露戦争によってロシアから獲得した中国の遼東半島南端の租借地を統治する関東都督府がおかれた。

問12 下線部(イ)の二十一カ条の要求をおこなったときの総理大臣は次のうちどれか。

12

- ① 大隈重信
- ② 寺内正毅
- ③ 原敬
- ④ 高橋是清
- ⑤ 加藤高明

問13 下線部(ウ)の中国の北伐に対抗する過程でのできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

13

- a 東方会議が開かれた。
- b 済南事件がおきる。
- c 張作霖爆殺事件がおきる。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問14 下線部(エ)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

14

- ① 日本の占領は、ポツダム宣言を日本が受諾したことによるものであり、その目的は日本の非軍事化と民主化にあった。
- ② 連合国軍最高司令官マッカーサーが日本に到着し、アメリカ軍を主力とする連合国軍が日本全土を占領した。
- ③ 東京に連合国軍最高司令官総司令部がおかれ、日本全土は日本の主権のもと日本政府を介した間接統治方式がとられた。
- ④ 連合国による日本占領政策決定の最高機関としてワシントンに極東委員会が、東京には最高司令官の諮問機関として対日理事会がおかれた。
- ⑤ サンフランシスコ平和条約の調印・発効によって連合国軍による占領が終了したが、日米安全保障条約が調印されアメリカ軍は日本に駐留し続けた。

問15 下線部(オ)の自衛隊の海外派遣の根拠となった国連平和維持活動（PKO）協力法が成立したときの総理大臣は次のうちどれか。

15

- ① 竹下登
- ② 宇野宗佑
- ③ 海部俊樹
- ④ 宮沢喜一
- ⑤ 細川護熙

- Ⅱ 各時代の和歌に関する以下のA～Cの文章を読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

「父母は 枕の方に 妻子（めこ）どもは 足（あと）の方に 囲（かく）み居て 憂へ吟（さまよ）ひ 竈（かまど）には 火気（ほけ）ふき立てず 甑（こしき）には 蜘蛛（くも）の巣（す）懸（か）きて 飯炊（いいかし）く 事も忘れて」

この和歌は『万葉集』に所収された「貧窮問答歌」である。その現代語訳は、「父母は枕の方に、妻子は足の方に、私を囲むようにして嘆き悲しんでいる。かまどには火のけがなく、米を煮る器にはクモの巣がはってしまい、飯を炊くことも忘れてしまったようだ」であり、奈良時代の農民の暮らしをうかがわせる作品とされている。

問1 この「貧窮問答歌」の作者とされているのは次のうちどれか。

16

- ① 柿本人麻呂
- ② 大伴家持
- ③ 大伴旅人
- ④ 山上憶良
- ⑤ 山部赤人

問2 『万葉集』とその編者とされる大伴家持に関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

17

- ① 『万葉集』には、官人の作品のほか、民衆の東歌や防人の歌なども採録されている。
- ② 『万葉集』と同じ時代に、漢詩集として『懷風藻』が編纂された。
- ③ 大伴氏は、氏姓制度のもとで職掌を氏の名にした有力豪族で姓（カバネ）は連であった。
- ④ 天武天皇は、大伴氏を含む豪族層を新たな身分秩序に編成するために八色の姓を定めた。
- ⑤ 平安時代には大伴氏は伴氏となったが、応天門の変で伴健岑が失脚させられた。

問3 大伴家持が関係したとされる藤原種継暗殺事件に関係するできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

18

- a 早良親王が廃太子される。
- b 長岡京に遷都する。
- c 桓武天皇が即位する。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

B

「年のうちに 春は来（き）にけり ひととせを 去年（こぞ）とやいはむ 今年（ことし）とやいはむ」

この歌は在原元方の作で、『古今和歌集』の巻頭を飾る歌である。現代語訳は「まだ正月にならないうちに、もう立春が来てしまった。過ぎ去った一年を、新年の立春が来たのだから去年といおうか、それともまだ正月が来ないのであるから今年といおうか」であり、旧暦で太陽の運行によって決める立春に対して月の運行によって決める正月一日は独自に動くので、正月一日から新年とみる考えと、立春から新年とみる考えの矛盾を表現した歌とされる。

問 4 『古今和歌集』が編纂された時代の天皇は次のうちどれか。

19

- ① 醍醐天皇
- ② 朱雀天皇
- ③ 村上天皇
- ④ 冷泉天皇
- ⑤ 円融天皇

問 5 『古今和歌集』とその時代の文学に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

20

- ① 『古今和歌集』は、『土佐日記』の作者である紀貫之らによる最初の勅撰和歌集である。
- ② 『古今和歌集』編纂の前に、勅撰漢詩文集の『性霊集』・『文華秀麗集』・『経国集』が編纂された。
- ③ 伝説を題材とした『竹取物語』や貴族の生涯を歌物語でつづった『伊勢物語』があらわされた。
- ④ 中宮彰子に仕えた紫式部は、光源氏を主人公とした『源氏物語』を創作した。
- ⑤ 皇后定子に仕えた清少納言は、宮廷生活の体験を随筆風に記した『枕草子』をあらわした。

問 6 『古今和歌集』冒頭の和歌の作者である在原元方は、平城天皇の孫である在原業平の孫である。平城天皇の前後の時代のできごと a ～ c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

21

- a 蔵人所が設置された。
- b 勘解由使が設置された。
- c 平城太上天皇の変（薬子の変）がおき、平城太上天皇は出家した。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

C

「願わくは 花の下にて春死なん その如月の望月の頃」

この歌は、『新古今和歌集』に収録された西行の歌であり、その現代語訳は「願うことには、春の満開の桜の下で死にたいものだ。それも（釈迦が入滅したとされている）旧暦の2月15日（現在の太陽暦では3月の後半）の満月の頃に」であり、実際に西行は、73歳のとき旧暦2月16日にこの世を去っている。

問7 『新古今和歌集』の編纂を命じたのは次のうちどれか。

22

- ① 後白河法皇
- ② 後鳥羽上皇
- ③ 土御門上皇
- ④ 順徳上皇
- ⑤ 仲恭天皇

問8 『新古今和歌集』とその時代の文学についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

23

- ① 『新古今和歌集』は、藤原定家らによって編纂され、技巧に富んだ観念の美を創造した。
- ② この時代の和歌集に、西行の『山家集』、源実朝の『金槐和歌集』がある。
- ③ 九条家出身の慈円は、『愚管抄』で武家政権の出現に至る歴史を描いた。
- ④ 鴨長明は『方丈記』を、兼好法師は『徒然草』をあらわした。
- ⑤ 平氏の興亡を描いた『平治物語』は、「平曲」として琵琶法師によって語られた。

問9 『新古今和歌集』に最も多く和歌が所収されている西行は、鳥羽上皇の北面の武士であつた。鳥羽上皇と武士に関係するできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

24

- a 後白河天皇が即位する。
- b 保元の乱がおきる。
- c 北面の武士が設けられた。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

- Ⅲ 以下の三人の人物に関する文章A～Cを読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

朱子学者である林羅山は家康に用いられ、秀忠・家光・家綱と4代の侍講となった。朱子学は君臣・父子の別をわきまえ、上下の秩序を重んじる学問であったため、幕府や藩に受け入れられた。林家の孔子廟は湯島聖堂となった。羅山の子孫は代々儒者として幕府に仕えて、学問と教育を担った。

問1 林羅山は次のうちだれの門人であったか。

25

- ① 谷時中
- ② 野中兼山
- ③ 山崎闇斎
- ④ 藤原惺窩
- ⑤ 山鹿素行

問2 朱子学に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

26

- ① 院政期には、朱熹が大成した宋学（朱子学）が伝えられた。
- ② 室町時代には、五山の禅僧が朱子学を学んでいた。
- ③ 『大日本史』の編纂事業の中で、水戸学は朱子学を基調とした。
- ④ 寛政の改革では、聖堂学問所で朱子学以外の講義が禁じられた。
- ⑤ 柴野栗山・尾藤二洲・岡田寒泉の3人の朱子学者を「寛政の三博士」という。

問3 儒学に関連したできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

27

- a 武家諸法度の第1条が「文武忠孝を励し」に変更された。
- b 林鳳岡（信篤）が大学頭に任命された。
- c 岡山藩主池田光政が熊沢蕃山をまねいて重く用いた。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

B

長州藩士として生まれた吉田松陰は、兵学者である叔父の養子となって兵学を学び、江戸に出て佐久間象山に師事し、西洋兵学を学んだ。1854年にペリーが日米和親条約締結のために再来したときに乗船し、海外渡航を企てたが失敗し、長州に檻送、幽閉された。このとき叔父が長門萩に設立した私塾である松下村塾を引き継ぎ、高杉晋作などの尊王攘夷派の人材を育てたが、安政の大獄により江戸で処刑された。

問4 ペリー来航前後のできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

28

- a 清がアロー戦争（第2次アヘン戦争）でイギリス・フランスに敗れた。
- b 日米和親条約が締結された。
- c ロシアの使節プチャーチンが開国を要求したが、幕府は回答を引きのばした。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

問5 長州の尊王攘夷派に関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

29

- ① 幕府が攘夷決行を命ずると、長州藩は下関海峡で外国船を砲撃した。
- ② 八月十八日の政変によって、長州の勢力は京から追放された。
- ③ 長州藩は寺田屋事件を契機に京に攻めのぼったが、敗れて退いた。
- ④ イギリスを始めとする4国の連合艦隊は、下関の砲台を攻撃した。
- ⑤ 幕府の長州征討（第1次）がおこなわれると、長州藩の上層部は尊王攘夷派を弾圧した。

問 6 安政の大獄で吉田松陰とともに処刑された橋本左内が仕えたのは次のうちどれか。

30

- ① 阿部正弘
- ② 松平慶永
- ③ 松平容保
- ④ 山内豊信
- ⑤ 島津久光

C

豊前中津藩士として生まれた福沢諭吉は、長崎へ遊学して蘭学を学んだ後、適塾（適々斎塾）で学んだ。江戸に出るとともに英語を学んで、数度の幕府使節団に加わり、旗本となった。維新後は、明治政府に出仕せず、慶應義塾を創設し明六社の結成に参加して、教育と啓蒙活動に専念した。『国会論』を著すなど国会開設運動の先頭に立って自由民権運動に影響を与えたが、後に創刊した『時事新報』は「脱亜論」を発表し、清との軍事的対決の気運を高めた。

問 7 適塾（適々斎塾）を開いたのはだれか。

31

- ① 前野良沢
- ② 杉田玄白
- ③ 緒方洪庵
- ④ 稲村三伯
- ⑤ 高野長英

問 8 明治初期の教育・啓蒙思想に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

32

- ① 新島襄によって、東京専門学校が創設された。
- ② 開成所・医学所を母体として東京大学が設立された。
- ③ 福沢諭吉がスマイルズの『西国立志編』を翻訳した。
- ④ 中村正直が『西洋事情』を著した。
- ⑤ 中江兆民が『文明論之概略』を著した。

問 9 国会開設運動に関連するできごと a～c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

33

- a 国会開設の勅諭が出された。
- b 集会条例が制定された。
- c 北海道開拓使の官有物払下げの汚職疑惑が新聞に報道され，政府批判が激しくなった。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

Ⅳ 以下のエネルギーに関する文章A～Cを読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A

官営事業の払下げによって優良鉱山を得た三井・三菱などの政商は、重工業の成長とともに財閥に成長していった。石炭は日本の近代産業の基盤であった。大戦景気の中で、電力業では大規模な水力発電事業が展開され、電灯の農村部への普及や工業原動力の蒸気力から電力への転換を推し進め、電気機械の国産化も進んだ。大戦後不況、金融恐慌、世界恐慌などの不況を経験した日本は、満洲事変後の管理通貨制度の下で円安を利用して輸出を飛躍的に増加させ、重化学工業を発展させていった。しかしその資源は自国の勢力圏でまかなうことは不可能であり、勢力圏の拡大に向かっていった。なかでも戦略物資としての石油の輸入をアメリカに依存していることは重大であり、日本の中国、東南アジアへの戦線の拡大は、アメリカとの緊張関係の中で進んでいった。

問1 下線部(ア)の官営事業払下げ後、高島炭鉱を経営した財閥は次のうちどれか。

34

- ① 三井
- ② 三菱
- ③ 住友
- ④ 安田
- ⑤ 古河

問2 下線部(イ)の大規模水力発電において、長距離送電に成功したのは、次のうちどことどこのあいだか。

35

- ① 大阪・宇治
- ② 大阪・黒部
- ③ 東京・奥只見
- ④ 東京・佐久間
- ⑤ 東京・猪苗代

問3 下線部(ウ)に関係する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

36

- ① 平沼騏一郎内閣のとき、日本の東南アジア進出の動きに対して、アメリカは日米通商航海条約の破棄を日本に通告した。
- ② 阿部信行内閣のとき、日本が北部仏印に進駐すると、これに前後してアメリカは航空機用石油と屑鉄の対日輸出を禁止した。
- ③ 第3次近衛文麿内閣のとき、日本が南部仏印に進駐すると、アメリカは在米日本資産の凍結と対日石油輸出の禁止を決定した。
- ④ 第2次近衛文麿内閣のとき、ワシントンで駐米大使野村吉三郎とアメリカ国務長官ハルとのあいだで日米交渉が始まった。
- ⑤ 日米交渉が行き詰まると、交渉の打ち切りを主張する東条英機陸軍大臣と対立して、第3次近衛文麿内閣は総辞職した。

B

戦後復興では、石炭などの重要産業部門に資材と資金を集中する傾斜生産方式が閣議決定され、石炭の増産がはかられた。石炭の増産の中で炭鉱事故もおこった。高度経済成長期を迎え、原油輸入の自由化もあって石炭から安価な石油へのエネルギー転換が急速に進むエネルギー革命がおこった。太平洋側に石油化学コンビナートなどが建設され、京葉・京浜・中京・阪神・瀬戸内・北九州と続く重化学工業地帯（太平洋ベルト地帯）が出現した。こうした経済成長によって、環境が破壊され、大気・水質汚染が深刻となり、各地で公害が発生した。公害に対する住民運動が各地でおこり、公害に対する訴訟がおこされた。

問4 下線部(ア)の傾斜生産方式を閣議決定した内閣は次のうちどれか。

37

- ① 東久邇宮稔彦内閣
- ② 幣原喜重郎内閣
- ③ 第1次吉田茂内閣
- ④ 片山哲内閣
- ⑤ 芦田均内閣

問5 下線部(ア)・(イ)に関連する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

38

- ① 片山哲内閣は、炭鉱国家管理問題などをめぐる与党内の対立によって退陣した。
- ② 高度経済成長が始まった時期に、「神武景気」につづいて「岩戸景気」が出現した。
- ③ 岸信介内閣は、『経済白書』で「もはや戦後ではない」と記した。
- ④ 池田勇人内閣は、「国民所得倍增計画」を打ちだし、経済成長をさらに推し進めた。
- ⑤ 佐藤栄作内閣のときに、「いざなぎ景気」という好景気が続いた。

問 6 下線部(ウ)に関連するできごと a ～ c を古いものから順に正しくならべたものはどれか。

39

- a 環境庁が発足した。
- b この年までに四大公害訴訟は原告側の勝訴で終わった。
- c 公害対策基本法が制定された。

- ① $a \rightarrow b \rightarrow c$
- ② $a \rightarrow c \rightarrow b$
- ③ $b \rightarrow a \rightarrow c$
- ④ $b \rightarrow c \rightarrow a$
- ⑤ $c \rightarrow a \rightarrow b$
- ⑥ $c \rightarrow b \rightarrow a$

C

第1次石油危機の中で、アラブ産油国の資源ナショナリズムが高まり、原油価格は4倍に^(ア)なった。安価な原油の安定的供給という高度経済成長の基本的条件の1つが失われ、日本は戦後初のマイナス成長となった。石油危機後の日本企業は、「減量経営」を続け、第2次石油危機を乗り越え安定成長の軌道に乗った。^(イ)しかし「バブル経済」の崩壊後、長い不況の壁を乗り越えられずにいる。石油危機後、国内各地で大都市から離れた場所に原子力発電所と関連施設が建設された。たびたび事故がおこったが、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所での大規模事故の発生^(ウ)により、安全とされてきた原子力発電への認識は変化し、新たなエネルギーが模索されている。

問7 下線部(ア)の第1次石油危機の前後のできごとa～cを古いものから順に正しくならべたものはどれか。

40

- a 沖縄返還協定締結
- b 日中共同声明発表
- c 先進国首脳会議（サミット）開催

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問8 下線部(イ)に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

41

- ① 福田赳夫内閣のとき、第2次石油危機がおこった。
- ② 第2次石油危機は第4次中東戦争を機におこった。
- ③ 竹下登内閣のときに、プラザ合意が成立した。
- ④ プラザ合意によって、円安が進み、物価が高騰した。
- ⑤ 橋本龍太郎内閣のとき、金融機関の破綻があいついだ。

問 9 下線部(ウ)の東京電力福島第一原子力発電所の事故がおこったときの内閣は、次のうち
どれか。

42

- ① 福田康夫内閣
- ② 麻生太郎内閣
- ③ 鳩山由紀夫内閣
- ④ 菅直人内閣
- ⑤ 野田佳彦内閣